

あかるく 元気に
すすんで 学 び
みんなと 仲良く

平成30年度学校経営・運営ビジョン

地域と共に 生きる はぐくむ 育ち合う

福島県立富岡支援学校

Tomioka Special Supprt School



チェリーちゃん

Webサイト <https://tomioka-sh.fcs.ed.jp>
Facebook <https://www.facebook.com/tomioka.yougo/>

「全職員が一致団結して子供たちの成長を実現する学校」

児童生徒一人一人が日々充実した学校生活を送り、明るく元気に成長することを願い、以下の3つの視点に立って全職員が一丸となって努力して参ります。

- 1 教職員が教育に対する夢と情熱をもち、日常的に同僚同士が学び合いながら専門性の充実に努め、「分かる」授業を実践することにより、児童生徒の「できる」ことを確実に育てます。
- 2 校舎が離れていても一つの学校としてのつながりを大切にし、児童生徒が役割をもって社会の一員としてたくましく生きる力を育てます。
- 3 家庭、東洋学園、関係機関及び双葉地域、いわき地区等、地域との信頼関係を大切にしながら、地域を「支える」ことができるようセンター的機能の一層の充実に努めます。

校長 小河原 健一

教育目標

一人一人の特性に応じ、社会の一員としてたくましく生きる力と豊かな心を身に付けた児童生徒を育てる。

重点目標1

「分かる」「できる」

分かる授業を実践して考えて行動する力を育みます。指導の「振り返り」を行い、児童生徒一人一人のできることを確実に育てます。

重点目標2

「つなげる」

小学部と中・高等部の校舎が離れても一つの学校としてのつながりを大切にし、児童生徒が役割を持って合同学習等に参画することにより、社会の一員としての「生きる力」を育てます。

重点目標3

「支える」

地域に支えられていることに感謝し、特別支援学校としてのセンター的役割の推進と、地域の特別支援学校と連携し生徒の進路実現に向けて、丁寧に努めていきます。

- 1 児童生徒の発達段階に応じてICT機器や情報通信ネットワーク等の情報手段に触れさせるなど効果的に活用することにより「できた」「分かった」を実感させる授業の充実に努める。
- 2 体験的な学習を段階的、計画的に取り入れることにより、児童生徒一人一人の主体的な学びを育み、「できる」自信を高めていくように努める。
- 3 日々の授業や各種行事等を、「分かる」「できる」の観点で振り返り、「分かる授業」を実現すると共に、同僚同士が日常的に学び合う機会を積極的に設定し、専門性の継承やさらなる向上に努める。

- 1 児童生徒の成長段階に応じた「キャリア(生きる力)」の目標を明確にし、一人一人の将来を見据え、児童生徒自らが選択・希望した進路に結び付けられるよう努める。
- 2 あいさつや返事、「ありがとう」「ごめんなさい」を、児童生徒一人一人の特性と成長段階に応じた表現方法で、相手に伝わるよう日々実践し、「地域で共に生きる」基礎的な力として確実に育てる。
- 3 小学部・中学部・高等部それぞれの発達段階に応じて、一人一人が集団の中での役割を持ち、「役割を果たす力」「発表する力」を実践し、その活動の中で「友達を思いやる心」「いたわりの心」を育み、「社会の一員として共に生きる力」を育てる。

- 1 双葉地域の幼児・児童生徒と、その保護者、学校の実情を踏まえ、双葉地域の特別支援学校として、地域の課題解決に向けて積極的に支援する。
- 2 避難からの帰還と新たな地域再編も含め、就学前の幼児も含めた教育機関や支援機関の動きを常に把握し、「出かける支援」「さくら相談室」「研修」等のセンター的機能が地域の要望に応じた適切な役割を果たすように努める。
- 3 双葉・いわき両地域の就労支援機関や就労関係者との丁寧な情報交換・共有をさらに進めネットワークを確実なものとし、双葉・いわき両地域の高等部生の進路実現に努める。